施策番号	2321
施策名	都市内の交通網の整備
概要	「歩くまち・京都」の考え方を踏まえ、安全・快適な歩行空間を確保するとともに、公共交通機関や自転車の利用しやすい条件を整備し、自動車交通に過度に依存しない公共交通優先型の歩くまちを目指した交通網を整備する。
担当局	建設局

232 多様な都市活動を支える交通基盤づくり 上位政策

施策の評価

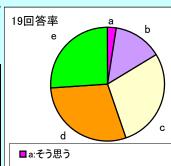
客観指標評価

		17年度 18年度		17年度 10年度	1 9 年度評価					
		17千茂	10千及	前回値	最新値	目標値	達成度	評価		
1	道路延長規格改良率(%)	d	С	57. 5	58. 5	80.0	73. 1%	С		
2	自転車等駐車場の収容台数(台)	b	b	40361	40749	43361	94.0%	b		
3	自転車等駐車場の設置箇所数(箇所)	b	a	77	79	78	101.3%	a		
4	都市型レンタサイクルの設置台数(台)	d	С	579	570	636	89.6%	С		
5	バリアフリー全体構想に基づき事業を着手した旅客施設数の割合 (%)	b	С	36. 1	44. 7	44. 7	100.0%	b		
6	-	_	_	_	-	Ī	_	_		
7		_	-	_	-	ı	-	_		
8	-	_	_	_	-	1	_	_		
9	-	_	_	_	=	-	_	_		
10	-	_	-	=	=	-	=	_		
		С	b		客観指標	総合評価		b		

市民生活実感評価 市内の道路は安全・快適である。

設問

	17		1	8	19		
回答	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率	
a:そう思う	17	3.0%	25	4. 7%	12	2. 5%	
b:どちらかというとそう思う	107	19.0%	83	15. 7%	66	13. 9%	
c:どちらとも言えない	162	28. 7%	173	32.8%	135	28. 4%	
d:どちらかというとそう思わない	156	27.7%	138	26. 1%	139	29. 2%	
e:そう思わない	122	21.6%	109	20.6%	124	26. 1%	
有効回答数	564		528		476		
市民生活実感評価	d		d		d		



- □b:どちらかというとそう思う
- □c:どちらとも言えない
- ■d:どちらかというとそう思わない
- ■e:そう思わない
- * この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。
- 施策1344とは取組事項が類似することから、同じ客観指標等を使用して評価(一括評価)しています。

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感評価)

		17	18	19			
客観指標総	合評価	С	р	b			
市民生活実	感評価	d	d	d			
総合評価		С	С	С			
重み付け(理由)							
□客観指標	✓市民の実感	この施策は、市民生活の充実感及び満足感を高めることが目的であるので、市民生活実感評価を重視する。					

4 原因分析・今後の方向性

総合評価は昨年度に引き続きC評価となった。客観指標総合評価については,昨年度に引き続きb評価となっているが,これは「自転車等駐車場の設置箇所数」の指標がa評価という高い評価となっていることが大きな理由となっている。

一方,市民の生活実感については昨年度と同様d評価となっている。本施策は客観指標と市民の生活 実感を同等に重視しているため,総合評価を向上させるためには,これらの取組を市民に対して広報 していく必要がある。

今後とも、安全な歩行空間及び自転車利用環境の整備を推進していく。

(参考) この施策実現のための主な事務事業

		事業名	18年度予算 (千円)*	19年度予算 (千円)*	18年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部∙課
	1	市営駐車場	248, 823	247, 820	現状のまま継続等	建設局管理部建 設総務課
	2	京都市鴨東駐車場	175, 869	188, 901	現状のまま継続等	建設局管理部建 設総務課
	3	深草疏水通整備事業	48, 511	0	現状のまま継続等	建設局街路部広 域幹線道路課
	4	京都市出町駐車場	57, 813	61, 178	現状のまま継続等	建設局道路部道 路維持課
	5	京都市御池駐車場	189, 531	183, 845	現状のまま継続等	建設局道路部道 路維持課
(従)	6	3・3・132向日町上鳥羽線	2, 053, 501	700, 684	現状のまま継続等	建設局街路部街 路建設課
(従)	7	I · II · 3伏見向日町線	233, 805	943, 882	現状のまま継続等	建設局街路部街 路建設課
(従)	8	3・3・6石見下海印寺線	1, 109	1, 109	現状のまま継続等	建設局街路部街 路建設課
(従)	9	3・3・5中山石見線	48, 985	190, 819	現状のまま継続等	建設局街路部街 路建設課
(従)	10	3・3・128久世北茶屋線	1, 695, 183	457, 316	現状のまま継続等	建設局街路部街 路建設課
(従)	11	Ⅱ・Ⅲ・114幡枝葵森線	188, 800	0	現状のまま継続等	建設局街路部街 路建設課
(従)	12	I・Ⅲ・49久世梅津北野線(桂川橋梁)	37, 552	2, 323	現状のまま継続等	建設局街路部街 路建設課

(従)	13	Ⅱ・Ⅲ・41西小路通	1, 109	121, 736	現状のまま継続等	建設局街路部街 路建設課
(従)	14	JR東海道本線新駅関連公共施設	810, 627	523, 232	現状のまま継続等	建設局街路部街 路建設課
(従)	15	3・5・135大原通	352, 863	264, 307	現状のまま継続等	建設局街路部街路建設課
(従)	16	Ⅱ・Ⅲ・71国鉄嵯峨駅北通	217, 666	275, 686	現状のまま継続等	建設局街路部街 路建設課
(従)	17	Ⅱ・Ⅲ・41西小路通(阪急立体交差)	1, 196	1, 109	現状のまま継続等	建設局街路部街 路建設課
(従)	18	Ⅱ・Ⅱ・12御陵六地蔵線(第三工区)	6, 296	6, 309	現状のまま継続等	建設局街路部街 路建設課
(従)	19	2・2・29桃山石田線	2, 696	2, 323	現状のまま継続等	建設局街路部街 路建設課
(従)	20	2・2・28大津宇治線	2, 696	2, 323	現状のまま継続等	建設局街路部街路建設課
(従)	21	I・Ⅲ・14葛野大路(太子道~丸太町 通)	1, 282	2, 823	現状のまま継続等	建設局街路部街 路建設課
(従)	22	I・I・1 八条通	75, 000	193, 105	現状のまま継続等	建設局街路部街路建設課
(従)	23	3・5・116山陰街道	4, 000	1, 109	現状のまま継続等	建設局街路部街路建設課
(従)	24	羽束師橋関連道路他	50, 000	95, 809	現状のまま継続等	建設局街路部街 路建設課
(従)	25	道路附属物自転車等駐車場	179, 986	175, 605	充実	建設局道路部放 置車両対策課
(従)	26	京都市自転車等駐車場条例に基づく自転車 等駐車場	247, 130	215, 694	充実	建設局道路部放 置車両対策課
		合計	6, 932, 028	4, 859, 048		
		うち、主たる事業の合計 (従たる事業の合計)	720, 547 (6, 211, 481)	681, 744 (4, 177, 304)		
			., ,/	. , , , /		

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名 2321 都市内の交通網の整備												
指標名 道路延長規格改良率(%)												
担当課 道路明示課			連絡先	2 2	2 - 35	6 6						
	票の説 明 規格に		,改良为	が完成し	ている道路延	長の割合				•		ľ
	票の意味 道路整		示す指標	西示		3 算出方法 規格改良済道			各延長(各年度末	₹)	
4 数(直 前回	数值	最新	数値				目標値				,
	16年			年度	推移	数值			拠		達成度	
数值	57	'.5 	58	3.5	1.0ポイント均	曽 80.0	改良率8	30%を目	標値とし	て設定	73.1%	
	全国順				中長期目標]					
数値	<u>位</u> -	数值	目標年次	達成度		根拠		備考				
 5 評値	西基準				<u> </u> 6 基準説明	<u> </u>	1 1		7 評価	斯結里		
	単金年 数値が,					でを均等に20%刻みで	基準を		17	18	19	
b:60%以 c:40%以 d:20%以 e:20%末	、上60%未 、上40%未 於満	·満 ·満							d	С	С	
※ 施策指標					zから,同じ容 学台数(台)	客観指標等を使用し	て評価(一括評価	6) して	います。		
担当	課	放置	置車両対策	策課		連絡先	2 2	$2 - 3 \ 5$	6 5			
1 指標の説明 市内における主要自転車等駐車場の収容台数(累計) 2 指標の意味 3 算出方法・出典等 市内の自転車等駐車場にどのくらい自 各自転車等駐車場の収容台数の総数												
転車等が 4 数(直											
	前回 18 ^左	数値 F度		· <u>数値</u> 年度	推移	数値		目標値 根	拠		達成度	
数値	403			749	388台増	40961	京	都市自転		十画	99.5%	
	全国順 位	数値	目標年次	達成度	中長期目標	根拠]	備考		_		
数値	-	43361	22年度	94. 0%	「京都市自転	云車総合計画」に掲示		ν ιτι σ				
5 評価基準 7 評価結果												
中長期 a:100% b:80%以	目標に 以上 【上100%		態成度が)達成をaとし, 等間	隔に基		17	18	19	
c:60%以 d:40%以 e:40%末	₹上60%								b	b	b	

施策名

2321

都市内の交通網の整備

指標名

バリアフリー全体構想に基づき事業を着手した旅客施設数の割合(%)

担当課

交通政策室

連絡先

222 - 3483

1 指標の説明

平成14年に策定された「京都市交通バリアフリー全体構想」で選定した14の重点整備地区及び重点整備地区選定の対象となった地区において、バリアフリー化が必要とされる旅客施設のうち、地区移動円滑化基本構想策定に着手した施設の割合。

2 指標の意味

すべての人にやさしい駅として, バリアフリー化される施設整備の進捗状況を示す指標。

3 算出方法・出典等

地区移動円滑化基本構想策定着手施設数÷対象旅客施設数×100

4 数值

	前回数值	最新数值	推移		目標値	
	17年度	18年度	任何	数值	根拠	達成度
数值	36.1	44.7	8.6ポイント増	44.7	対象となる旅客施設(47)のうち, 地区移動円滑化基本構想策定に着手 する旅客施設(21)の割合	100.0%

	全国順	全国順中長期目標						
	位	数值	目標年次	達成度	根拠			
数値	-	53.2	22年		対象となる旅客施設(47)のうち地区移動円滑化基本構想策定 に着手する旅客施設(25)の割合			

整備対象地区数 14地区 備考

5 評価基準

6 基準説明

地区移動円滑化基本構想策定着手割合

が

a:53%以上

b:40%以上53%未満c:30%以上40%未満d:20%以上30%未満

e:20%未満

母数となる旅客施設のうち、地区移動

円滑化基本構想策定に着手する旅客施設 が占める割合(53%)をaとし,以下 10%単位で基準設定した。

平成16年度 地区移動円滑化基本構想 策定着手施設数 14, 対象施設数 47

表定看手施設数 14, 对象施設数 47 平成17年度 地区移動円滑化基本構想

策定着手施設数 17, 対象施設数 47 平成18年度 地区移動円滑化基本構想 策定着手施設数 21, 対象施設数 47

7 評価結果

· HI IM 14 >1							
17	18	19					
b	С	b					